

●アンケートや保護者説明会をもとにした、これまでのご意見まとめ
(意見整理表)

黒字は、保護者対象アンケートで出た意見
青字は、これまでの協議会で既出の意見
赤字〔 〕は事務局からの補足

	吉海小学校に対する意見	宮窪小学校に対する意見	教育委員会で整理した論点
立地	1 中学校、こども園、支所等に近い これまでのご意見 ・吉海地区に教育施設を集約することで、兄弟姉妹がいる家庭も、災害時に一か所で子どもを引き渡しでき、安全性や利便性が高い。(災害時、別々の地区に子どもを一人一人迎えに行くことは、現実として不可能であり、不便と感じる。)(兄弟姉妹の避難場所が違くと混乱を招く。) ・災害時、教職員や行政による支援、避難所運営などを集約させることで、危機管理体制が強化される。 ・中学校の専科教員や施設の共有など、教育資源を効率的に配置できる。 ・少子化の中、授業、行事等で小中連携しやすい方がよい。(中学校体育教員が乗り入れ授業する場合の移動負担軽減を含む) ・将来、再び複式学級化することが見込まれており、将来は小中一貫化するのがよい。中学校と隣接している吉海小学校の方が小中一貫校に移行しやすい。 ・役場と近いため、地域学習や学校手続き、行事等がしやすい。 ・大島の中心地に位置し、教育・運営・地域機能の面から長期的に見て合理性の高い立地にある。 ・避難訓練をこども園、小学校、中学校合同でしており、助け合うことができる。 ・校舎自体の安全面では宮窪小が良いと思うが、大規模な津波ならどこにいても同じだと思う。災害時に吉海と宮窪を行き来するよりは、吉海に学校が集約していた方が負担が少ない。 2 給食センターに近い これまでのご意見 ・給食運搬にかかるコストを削減できる。 3 周辺に企業や商業施設、病院等がある これまでのご意見 ・教育機関、企業、公共施設を集約させた方が、緊急時に連携が取りやすい。 ・宮窪住民も、買い物等で吉海に来る習慣がある。(生活の動線上に宮窪小学校がない。) ・日常の生活の動線と一致しており、子どもにとっても負担がない。 ・企業があるため、地域に大人がおり、災害時を含め、こどもを見守る環境が整っている。何があったときに助けてもらえる。 ・保護者の職場から近い。 4 陸地部方面へのICに近い これまでのご意見 ・教職員の通勤負担の軽減につながる。 ・救急で教員が陸地部の病院に子どもを連れていく際、吉海の方が近い。 5 B&G(プール)から近い	1 島内のそれぞれの地域に学校を置くことができ、小学校では宮窪地域、中学校では吉海地域について学ぶことで、大島全体について知ることができる。 (「教育・学校生活」のカテゴリで詳しく記載) 1 島内のそれぞれの行政区域に、地域の生活拠点としての学校があることが望ましい。(地域拠点機能) (「地域づくり」のカテゴリで詳しく記載)	〔どちらの地域に学校統合されても、現在、両校で行っているような中学校との連携や地域のプール活用を行って参ります。災害時の対応については、子どもの安全を第一に確保できるよう、各学校に応じた形で対策を考え、避難訓練等を行って参ります。〕

	吉海小学校に対する意見	宮窪小学校に対する意見	教育委員会で整理した論点
運営	1 現時点での見込では、令和11年度に統合しても、翌年度（令和12年度）から複式学級が生じる可能性が高い。しかし、複式学級の解消が見込めない場合でも、最小限の児童数を確保したうえで、島内での学校運営を継続する。 （少なくとも、今後10年は継続。一人の子どもに2度の統合は経験させない） 島域を越えた通学は、小学生にとって身体的・心理的負担が大きいと考え、大島島内に小学校を存続することが望ましい。 2 児童クラブを学校に設置できる。 吉海には現在も児童クラブがあり、利用人数が一定数以上であるため、統合後も設置継続の見込である。宮窪では、これまで有資格の指導者を確保できず、児童クラブを設置できていない。指導者を確保でき、児童クラブの利用希望者が一定数以上いる場合は、設置要望を出すことはできる。 これまでの意見 - 児童クラブは校内に設置してほしい。 - 宮窪小学校に統合したとき、なぜ学校に児童クラブを設置できないのか疑問である。小学校を統合するのに、なぜ学童だけ吉海と宮窪で分けるのか。 - 学校に児童クラブがあることで、放課後の移動時間が少なくなり、宿題を済ませたあと、校庭で遊ぶ時間を取りやすく、のびのびと過ごせる。	1 現時点での見込では、令和11年度に統合しても、翌年度（令和12年度）から複式学級が生じる可能性が高い。しかし、複式学級の解消が見込めない場合でも、最小限の児童数を確保したうえで、島内での学校運営を継続する。 （少なくとも、今後10年は継続。一人の子どもに2度の統合は経験させない） 島域を越えた通学は、小学生にとって身体的・心理的負担が大きいと考え、大島島内に小学校を存続することが望ましい。	①このまま少子化が進むと、小学校と中学校が統合して、小中一貫校となるのか？ ↓ これまでのご意見 - 小中一貫化した方がよい。そして、小中一貫化するなら吉海小学校舎で小学校統合しておく方がよい。 - 中学校も老朽化している。経費削減のため小中を同一校舎にし、校舎を建て替えてできないか？ - 近い将来、小中一貫化して中学校校舎や新設の小中同一校舎を使うようになるなら、今、小学校に投資する必要があるだろうか。 - 令和12年度以降、すぐに複式学級となる点を踏まえて協議する必要がある。 〔将来、大島の小中学校がどのような形になるかは、今後の検討事項であり、現時点でははっきりとわかっておりません。また、吉海小学校の老朽化対策は優先度が高く、吉海小学校舎で小学校統合する場合は、大規模改修を行う必要があります。〕 ②その他、学校運営全般や児童クラブに関すること。 ↓ これまでのご意見 - 学習アシスタントを増員してほしい。 - 児童クラブを継続してほしい。 - まずは、保護者が子どもを預けやすいこと、仕事に支障がない送迎の体制が大事。 - 学校内に児童クラブが欲しいが、宮窪小学校では、指導者がいないため、児童クラブを設置できないのではないかと。吉海小学校で過ごさせ、そのまま吉海の児童クラブに行かせたい。 〔児童クラブについては、統合場所決定後の統合準備会で具体的に検討します。現時点で、吉海側には、設置を継続できる見込です。児童クラブを設置できる適切な場所を確保し、存続させて参ります。〕
施設	1 吉海小学校施設は老朽化が進んでおり、近い将来、大規模改修の必要がある。 これまでのご意見 - 建築年数が経っているとはいえ、耐震基準は満たしており、3階建てのため津波等の心配はない。校舎は問題なく使える。 - 長寿命化費用は、学校を継続する以上、どの学校にもかかるものであり、統合場所決定の検討事由になりにくい。 2 宮窪小学校に比べて、吉海小学校の方が体育館や校庭が広い。 これまでのご意見 - 吉海小学校では、空手、バスケット、剣道など習い事等で体育館を利用している。運動場の遊具も充実している。	1 宮窪小学校（16年経過）は、吉海小学校（44年経過）に比べて施設が新しく、施設管理面や教育環境面に利点がある。 これまでのご意見 - 校舎が新しい。 - 地盤や建物の安全面が、吉海小に比較して良い。 - バリアフリーである。 - 設備が整っている。（エレベーター、温水シャワー付き保健室、特別支援教室、グラウンド排水等） - 建物の耐久性が、吉海小に比較して高い。 - こども園が吉海に統合したのは、宮窪のこども園の施設老朽化が理由であるため、同様に考えるなら小学校は宮窪小学校を選ぶべき。 - 大人の利便性よりも子どもの安全を優先したく、宮窪小学校の方が施設面でより安心感を得られる。 - 子どもの成長に配慮した設備や明るく広い教室など教育環境として非常に優れている。	③子どもにとっての望ましい教育環境をどう考えるか？ ↓ これまでのご意見 - 宮窪小校舎の新しさ、設備面（エレベーター、温水設備）、地盤の強さは理解できるが、統合先の主たる理由としては疑問。両校とも耐震基準を満たしており、安全性に問題はない。 - 宮窪小学校には、吉海小で人気のロケット遊具やターザンロープなどの遊具がない。校庭が狭い。 - 吉海小のターザンロープやロケット遊具は残してほしい。 （吉海小学校）プールを直してほしい。 - 体育館に冷房を設置してほしい。 - 子どもの運動不足解消や、地震で閉じ込められるリスクがあるため、エレベーターは不要。 学校に整備して欲しいことについて、選択式アンケートでは、「通学路の安全確保」が要望として最も多く、「校舎の修繕・整備」「避難所としての機能の充実」も多く望まれていた。

	吉海小学校に対する意見	宮窪小学校に対する意見	教育委員会で整理した論点
防災	1 吉海小運動場は、土砂災害時の指定緊急避難場所である。（なお、高潮、津波の時には避難所として使用できない） 2 吉海小学校校舎は、土砂災害、高潮、津波の時の指定一般避難所である。（なお、高潮の時は3階以上、津波の時は2階以上のみ） 3 両校とも、新耐震基準を満たしている。	1 宮窪小学校運動場は、高潮、津波の時の指定緊急避難場所である。（なお、土砂災害時には避難所として使用できない） 2 宮窪小学校校舎は、高潮、津波の時の指定一般避難所である。（なお、土砂災害時には避難所として使用できない） 3 両校とも、新耐震基準を満たしている。 4 宮窪小学校の方が地盤が強い立地にある。 これまでのご意見 耐震性や防災リスクだけでなく、海拔・高潮・地震時の軟弱地盤などの安全性を十分考慮すべき。	〔両校とも、災害時の避難場所としての機能を担っているので、統合により廃校となった場合も、住民のため避難所機能を継続する、または代替機能を持つ場所を確保するよう検討します。〕 これまでのご意見 - 命の危機に、子どもが安心して避難できる場所、安全に保護者に受け渡しができる状況を作ってほしい。 - 避難訓練（の内容）など、地震、津波のとき、子どもたちはどう行動しているのかしっかり教えてほしい。
通学	1 統合により通学距離が延びる児童のため、スクールバスによる支援を検討する。宮窪から吉海に通学する場合、小学生と中学生を全員バスに乗せる必要があるため、バスの増便が必要になる。 これまでのご意見 - 大島中学校や高校に向かうための交通、住民の買い物移動等により、既存の交通ルートで登校することができ、先々の利便性がよく、児童の負担が少ない。 - 兄弟姉妹が中学校と小学校に分かれて通っている場合、同じ方向に通学する方が、保護者としては安心である。	1 統合により通学距離が延びる児童のため、スクールバスによる支援を検討する。吉海から宮窪に通学する場合、始業時間を変更しない場合は、名駒線は発車時間を10分前倒しする必要がある。 これまでのご意見 吉海小学校から宮窪小学校に通学する場合、既存のバス路線を使える。	④遠距離通学について、どのような要望を出すか。 ↓ これまでのご意見 - 始業時間の見直し - 通学に係る保護者負担の軽減措置 - 通学バスの便を多くして欲しい。 - 緊急で迎えが必要な場合の対応について不安がある。 - 吉海から宮窪に通学する場合も、バスの増便が必要ではないか？ 志津見から一度学校で児童を降ろし、南浦へ回っているところ、これを1便で行って宮窪に行くのは難しい。朝も早くなりすぎる。 - 吉海から宮窪に通学するためには増便が必要と考えるため、財政負担や保護者の生活上の負担が増える。 - 路線バスの通り近くにバス停がない家庭もバス通学ができるのか心配 - バスでの通学が難しい地域などでは、他の地域で実例があるように、タクシーを使用した対応なども考えてほしい。 - 下校バスについても考慮してほしい。現在、両地区に2方向のバスが出ているが、バスの時間に合わせて時間割を組んでいる。これが4方向になると、時間の再調整が必要になるため、一斉に時間を組み替える方法があるとよい。中学校では、現在も4方向にバスが出ているが、早く帰る子と遅く帰る子でおよそ35分程の差があり、その間、自習等で埋めている。

	吉海小学校に対する意見	宮窪小学校に対する意見	教育委員会で整理した論点
教育・学校生活	1 中学校と近く、小中連携しやすい。（こども園とも連携もしやすい） これまでのご意見 ・中学校の専科教員や施設の共有など、教育資源を効率的に配置できる。 ・小中連携しやすい。（中学校体育教員が乗り入れ授業する場合の移動負担軽減を含む） ・教育の質の向上が狙える。 ・中学校と隣接しているため、中学校への進学時、子どもにとって環境変化が少なく、安心できる。 ・こども園、小学校、中学校で合同避難訓練ができる。	1 島内のそれぞれの地域に学校を置くことができ、小学校では宮窪地域、中学校では吉海地域について学ぶことで、大島全体について知ることができる。 これまでのご意見 ・中学校は吉海地域にあり、双方の地域文化、歴史等を子どもたちに伝えるためには、双方の地域に学校を配置するのがよい。 ・互いの地域の魅力を知り、理解してほしい。	⑤廃校となる地域での地域交流、地域学習をどう考えるか。 ↓ これまでのご意見 ・吉海小学校に統合した上で、大島全体での地域学習を考えて行けばよい。 ・宮窪小学校からは、地域の社会見学に歩いて行ける場所が少ない。 ・こども園、小学校、中学校の全てが吉海になると、宮窪に住んでいるのに宮窪地域のことを知る機会がないという児童が生じる。 ・子どもたちが成長する上で地域の協力は不可欠だが、吉海に学校が集中してしまえば、宮窪側の協力を得ることは難しくなるのでは？ ・地域とのつながりを大切にしてほしい。 ・宮窪地区の水軍太鼓のクラブを残してほしい。 ・吉海、宮窪それぞれの地域を知る活動（バラ観察や稚魚放流など）を続けてほしい。 ・大島全体及び各地区について歴史を学んで地元に誇りをもてる教育をさらに進めてほしい。 ・学校は規模ごとに良さがある中で、重要なのは地域・保護者・教職員・行政が連携して子どもを育てることである。大島の良さを生かし、協力してより良い教育環境をつくることを望む。 ⑥学校周辺の環境をどう整えるか。 ↓ これまでのご意見 ・宮窪小学校周辺には、遠足で歩いて遊びに行ける公園がない。 ・先日、宮窪で、包丁を持った人が逮捕されたというニュースがあった。警察の見守り等、防犯面にも力を入れてほしい。 ・宮窪に児童クラブはないが、夏休みには、ボランティアにより宮窪公民館で「宿題教室」が開かれている。子どもたちは、地域で友達と遊んだりして過ごし、地域で子どもたちを見守っている。 ・統合前でも、宮窪の子も海洋クラブに参加できるようにするとよい。 ⑦学校の魅力化や、その他学校生活についてどのような要望を出すか。 ↓ これまでのご意見 ・国内外からのサイクリストの訪問が多いため、英語学習や国際交流に力を入れると魅力化につながると思う。 ・自然との触れ合い ・少人数だからできる各分野のプロフェッショナルを招いた特別教育 ・お金の教育など社会に出て役立つ教育 ・自分で考えて発言できる環境 ・英会話などを身近に感じられる環境 ・部活動は続けてほしい。 ・島四国など大島の文化を大事にした教育 ・両地域の良さに触れ、学ぶための横断的な交流機会をもっと増やしてほしい。地域の商店や企業を訪ね、働く人の話を聞いたり、まちを知ったりする経験を大事にしたい。大島は造船業や柑橘農業、漁業といった業種が特徴的であるため、地域資源を生かした体験型学習を充実させてほしい。 ・ふるさと学習、海洋クラブ、学習交流館での発表、金管バンド、お遍路さんなど、統合しても変わらず行ってほしい。 ・金管バンド、吉海小唄が運動会でなくなるのは寂しい。 学校の魅力化について、選択式アンケートでは、「少人数環境をいかしたきめ細かな指導」「地域の特色をいかした体験型学習」「地域との連携した学校づくり」を選んだ回答が多く、次に、「基礎学力の向上」「学習アシスタントやALTを配置する」「中学校との連携強化」を選んだ回答が多かった。 〔統合後の新しい学校をどのような学校にするかについては、皆様からいただいた意見を元に、統合協議会で具体的に検討していきます。〕

	吉海小学校に対する意見	宮窪小学校に対する意見	教育委員会で整理した論点
地域づくり	1 地理的、経済活動的に、大島の中心部にある。	1 島内のそれぞれの行政区域に、地域の生活拠点としての学校があることが望ましい。 (地域拠点機能) これまでのご意見 ・宮窪に学校を残したい。 ・両地域に学校があった方が、両地域の交流にもなる。 ・地域の公平性を考えて、吉海には中学校があるから、宮窪には小学校を残すべき。両地区は人も文化も違うため、統合することで、お互いの理解が深まるとよい。	⑧小学校統合すると、廃校になる方の地域の活力低下が懸念される。 ↓ これまでのご意見 ・吉海小学校が廃校になったとき、廃校舎の利活用が進まなければ、大島の中心部にある以上、地域機能の低下、地域基盤の弱体化を招く。 ・吉海小学校で統合しても、地域の活力低下を防ぐため、宮窪の地域コミュニティ活動を体験学習に積極的に活用するとよい。 ・どちらの学校になっても、地域との交流は続けるとよい。子どもがいなくなって寂しいという声も聞くが、吉海から宮窪に遊びに行くこともできるし(逆もしかり)、全く子どもがいらないことはない。 ・こども園、小学校、中学校の全てが吉海なら、宮窪に住んでいるメリットがない。スーパーも銀行もないので、誰も宮窪に住まなくなる。 ・活気がなくなれば、宮窪の人口流出につながる。 ・全て吉海側に統合されると、地域として寂しい。子どもの声が聞こえなくなる。 ・学校が全て吉海側になると、宮窪の地域の方々との交流が減ってしまう。 ⑨その他、地域づくりについての意見 ・吉海の子どもが宮窪に通学することになったとき、「大島の子ども」として分け隔てなく歓迎し、大切にする意識をより高める必要がある。 ・廃校舎の利活用、避難所機能の維持を望む。 ・大島全体が一つになり、地域を巻き込んだ活動、イベントを多く行い、地域全体で子どもを育てる環境を作ってほしい。
統合直後のこと	●アンケートでは、学校統合にあたり、「子どもにとっての環境が変わることに不安がある」「学校が遠くなり通学に不安がある」「閉校になる方の学校跡地の活用方法が気になる」「送迎や、何かあったときにすぐに向かえないと感じる」という意見が多かった。 ●アンケートでは、子どもたちのこころのケアについて、「学校統合前の教職員を統合校にバランスよく配置」「スクールカウンセラーの配置」「統合コーディネーターの配置」を望む意見が多かった。 〔小規模校ならではのきめ細かな指導、配慮を残しつつ、統合準備期間から両校の交流（授業、運動会、行事等）を行ったり、バス通学の環境に配慮することで、子どもにとってよりよい学校統合を検討して参ります。交流活動や配慮について、具体的な内容は、保護者アンケートの結果や統合準備会での協議に基づき、皆様の意見を取り入れながら計画して参ります。〕 ●環境が変わることで不安定になる子どものメンタルケアをしてほしい。これまでの学校行事がどうなるか不安な保護者もいる。何事も迅速に明確に連絡してほしい。 ●教育に力を入れてほしい。 ●制服の変更等があるか気になる。 ●教職員、児童の負担を、市が責任もってケアしてほしい。現場に丸投げではなく、市が現状把握・課題解決を行い、誠実な対応をしてほしい。 ●統合することを、子どもたちに「良くないこと」という印象を与えるのではなく、「これからよりよく過ごすための工夫」として受け止められるよう、保護者、先生などが伝え方を考える必要がある。		
統合協議に関すること・その他	●学校統合については、PTAの意見を尊重したいと思う。（自治会意見） ●子どもたちの学校生活がより良いものとなるよう、保護者同士が寄り添い話し合い、素敵な環境づくりを大切にしたい。 ●意見を交わすことで、お互いの地域の良いところを知ることができるとよい。 ●親が互いの地域を悪く言うことで、子ども同士の中が悪くならないようにしたい。 ●大人の意見や地域のしがらみなどは必要ない。 ●宮窪小学校の校舎は比較的新しく設備も整っているので、地域ニーズに応じた別用途への転用など、有効活用の余地がある。移住者の増加以上に過疎化が進んでいるため、学校統合は、単純に校舎の設備で判断せず、教育環境の質、運営効率、地域の持続性、島人口の減少推移など総合的に判断すべき。利便性の低い場所への統合は、児童、保護者、教職員など関係者全体の負担につながり、長期的には地域全体の活力低下を招く可能性がある。全て吉海町に集約されても、宮窪の児童が自分の町の文化や伝統に触れる機会は、学校立地に関係なく、教育課程や地域連携の工夫により十分に継続、充実させ、さらに多様な学びの機会を創出することもできる。引き続き、丁寧な説明と慎重な検討をお願いする。 ●互いの地域を蔑んだり、親の都合や利便性を優先するのではなく、子どもたちがより安全で充実した学校生活を過ごせるのはどちらの校舎なのか、という視点が、お互い納得するためには大事ではないか。 ●強い人の意見だけで、その他多数の意見が蔑ろにされないことを望む。 ●統合協議の進め方が、宮窪小学校での統合に向けて偏っていると感じる。教職員や地域の声を十分に反映し、子どもの安全を最優先に再検討してほしい。学校の先生たちの声もアンケート集計してほしい。宮窪小学校に統合する場合は、各課題への対処について丁寧な説明を求める。 ●吉海小学校に統合してもらえなければ、交通ルート整備の諸経費など、具体的な対策や施策を早期開示してほしい。 ●統合は必要ないとした意見 ・それぞれの地域性を生かした学びを大切にしてほしい。 ・なぜ統合するのか説明がない。 ・子どもが、環境変化への適応が難しく、今のまま慣れた学校生活をさせたい。 ・通学の長距離化で、子どもたちや親の負担が増す。 ・新しい人間関係になじめず、精神的な疲労や不安を感じる子どもも出るかもしれない。本当に子どものためを思うなら、小規模校のままだもよいのではないか。 ・地域で過ごしたい。 ・現状で、何も問題に感じない。 〔統合について、保護者や地域のご理解をいただけるよう、丁寧に説明して参ります。〕		